

令和6(2024)年 蘇遙会運営委員会議事録

- 日時 令和6年5月31日(金) 16:30~17:50
- 場所 熊本大学工学部1号館3階 328(土木教室会議室)
- 出席者
 - 蘇遙会会長 山尾 敏孝
 - 運営委員長 佐藤 晃
 - 東京支部 坂西 由弘
 - 大阪支部 高岡 次義
 - 福岡支部 大石 研一郎
 - 大分支部 安藤 正毅
 - 宮崎支部 西野 貴之
 - 熊本支部 上月 裕
 - 監事(教室) 柿本 竜治
 - 教室2年担任 金 洙列
 - 令和6年度学生部 仁戸田 尚、須藤 翼
高木 駿介、山村 真子
前田 明日香、高橋 仁晟
 - 令和5年度学生部 中村 優志、七田 隼成
 - 事務局 藤内 英子

《報告、討議事項および決定事項》

1 令和5年度事業報告および決算報告

1) 令和5年度事業報告

- ・ 事務局より、資料に基づいて、運営委員会の開催、情報誌およびデータカードの発送、会費の徴収、ホームページの更新などについて説明があった。

2) 令和5年度会計報告および監査報告

- ・ 事務局より、資料に基づいて、会計報告が行われた。
印刷費は、今年度より情報誌およびデータカードの印刷単価が10円値上がりしたため、昨年度より印刷部数を削減したものの、支出は増えることになった。
交通費については、コロナ禍の影響により運営委員会への対面出席がなかったため、委員会参加旅費・宿泊費の支出なし。
会議費の懇親会開催費用も不開催となり支出なし。
収支の差額は、-176,817円となった。
- ・ 監事より、監査を行い、会計処理は適切に処理をされていることを認める報告があった。

3) 学生部活動報告

- ・ 令和5年度学生部より、資料に基づいて、活動報告があった。9月の研修旅行と10月の工学部運動会が昨年度はなく、今年度開催した活動であること。研修旅行については、2021年度(令和3年度)以前はダム見学といった土木分野に特化した内容であったが、今年度は崎津集落に行き、土木だけでなく地域デザインの重要性を確認するよい体験ができた。

■ 公にこのような活動が出来たことは非常によかった。親睦BBQの1年生はどんな感じだったか？(佐藤)

→ 全体の参加人数が80名程でその半数ぐらいは1年生だった。1年生の段階では土木の分野に対してイメージが出来ない人が多いので、やはり建築に行きたいと思っている学生が多い印象。(中村、七田)

現在は土木と建築が一緒になっていて、1年生の段階では同じ講義を受けて、2年に上がる時にコース分けをするようになっており、1年生はどちらにするか迷っている状態。どうしても建築のほうが人気なので、蘇遙会の学生がこのようなイベントを企画し1年生を誘って土木を宣伝してくれることは、教員一同今後とても期待している。(佐藤)

■ 1年生も蘇遙会に入っているのか？(坂西)

→ 1年生から会費は徴収していないので、2年生からになる。(七田)

■ 運動会には、土木の学生は全体のどのくらい参加しているか？(上月)

→ だいたい3割ぐらい。(中村)

■ 研修旅行に参加する学年は同じなのか？実際に参加した学年は？(坂西)

→ 学年の制限はなく、幅広く募集する。実際に参加した学年は、1年生と3年生が多かった。(中村)

■ 研修旅行について、今回土木に分野に特化したものではなく地域デザインの内容を取り入れるに至った背景、議論はどのようなものだったのか？(西野)

→ 土木教室には土木教育プログラムと地域デザインプログラムがあるので、土木分野ばかりではなく視野を広げるためにほかのこともやってみようということになった。また、1年生も多く参加するので、土木に対する初めの印象を考慮するねらいもあった。(中村)

4) 学生部決算報告

- ・ 令和5年度学生部より、資料に基づいて、会計報告が行われた。

活動費30万円を5,000円ほどオーバーしてしまったのは、予想外に研修旅行費に多く使うことになってしまったため。そのため、追い出しコンパの費用で調整をしたが、先日の学内運営委員会で、そのような時は繰越金があるのでそれを使ってよいとのことだったので、今後はそのように引継ぎをする。

紫熊祭の会計について、蘇遙会の活動費は使わないのでこの会計報告には載せていなかったが、学内運営委員会で指摘があった通り、万が一赤字になった時のことも考えて、来年度以降は支出と収入がわかるよう会計報告を作るようにする。

2 令和6年度事業計画および予算案

1) 令和6年度事業計画

- ・ 事務局より、例年通りの事業計画を予定しているが、予算の都合上、情報誌の配布形態（印刷物とするか pdf 形式の電子ファイルとするか、またはその併用）および配布先（会費を納入してくれている会員のみ限定）などをどのように取り扱っていくか意見を求めることとした。詳細については次に示す予算案を参照しながら議論することとした。

2) 令和6年度予算案

- ・ 事務局より、資料に基づいて、予算案の説明があった。
昨年度との違いとしては、今年度は運営委員会が対面参加となったため、委員会参加交通費に15万円、懇親会に6万円を計上したところ。また、卒業生・宮島氏の県土木部長就任祝賀会への学生会員参加費補助として48,000円を計上した。
収支の差額は、-172,400円となる。収支のマイナスが続かないように、情報誌印刷をせずにホームページ上で見てもらうなど何か対策をしたほうが良いのか、支出を抑える案など意見が聞きたい。
 - 経験からすると印刷部数を変えてもあまり費用は変わらないと思うが、印刷をなくした場合どのくらい費用はへるのか？（佐藤）
→ 10万円ぐらい。（藤内）
印刷物を配布する会員を退職されている会員に絞るなどして、出来る限りホームページ上で見てもらい、10万円程度削減できるのであればそれも方法の一つ。（佐藤）
 - 情報誌は会費納入の有無にかかわらず、会員全員に送っているのか？（高岡）
→ 全員に送っている。（藤内）
会費を払っていない会員には、送付をやめるという方法もある。（高岡）
 - 会費を払っている280名が毎年全く同じ会員というわけではない。毎年払っているのか、何年かに1度払っているのか、状況を確認するため仕分けをしたほうが良い。いきなり全部やめるのもよくないので、こういう形で情報誌を送ることが出来なくなるという案内も必要。昨年度の会費納入が20万円ほど落ちているが、今年度は20万円回復できるという予算を立てていて、本当に大丈夫なのか、このまま落ちてしまうのではないかとこのところがある。情報誌は会費を払っていただくうえで大事なものでもあるので、そこも考慮しながら検討していく必要がある。（山尾）
 - まずは現状把握が必要。そのうえで、今後どのようにするか検討する。
今年度は、この予算案が承認されたことを確認する。（佐藤）

3) 学生部活動計画

- ・ 令和6年度学生部より、資料に基づいて、活動計画の説明があった。
コンセプトは「盛り上げる」。コロナ禍による活動の自粛も終わってきて、去年ぐらいから研修旅行など学生部として盛り上げてくれたのでそれを引継ぎ、さらに盛り上げていきたい。特に学年間の交流を増やしていけたらと思う。
活動計画は、基本的に昨年と同じような内容だが、一つだけ12月に1年生の進路相談会を新たに実施する予定。

- 4月の花見と5月のBBQは実施済みということで、6月の球技大会の状況は？（佐藤）
 - 今から計画するところ。（仁戸田）
- 9月の研修旅行は、何か決まっているのか？（佐藤）
 - 自分たちは、コロナ禍で1、2年の時蘇遙会の活動にあまり参加できておらず、研修旅行をどのようにしたらよいかわからないため、まだ具体的なことは決まっていないが、先輩たちのアドバイスをもらいながら計画していく予定。（仁戸田）
 - 大変だと思いますが、是非活発な活動をしてほしい。（佐藤）

4) 学生部予算案

- ・ 令和5年度学生部より、資料に基づいて、予算案の説明があった。

昨年度と今年度の予算額が大きく異なる点は、運営費と予備費。理由は、昨年度までの予算額の設定の仕方が、繰越金を含めたほとんどの額を運営費に割り振っていたため。繰越金の割合が大きいののでこの通り執行してしまうと運営が成り立たなくなるため、実際執行する額は今年度の活動費30万円を大きく上回らないようにしている。予算額と執行額が大きく異なるならないほうがよいとの指摘が学内委員会であったため、今年度の予算額は昨年度の執行額を参考にして予備費を多く設定した。運営費が33万円となっているが、やや多めに設定しているためであり、結果として執行額は30万円前後に収まるのではないかと思う。

 - 通常の予算案の書き方と違っており、こちらのほうが動きを辿りやすいため指摘した。中身としてはこれまでと変わらない。（佐藤）
 - 工学部運動会については、何も出す必要がないのか？蘇遙会とは関係なく個人での参加なのか？蘇遙会としてはどのような関りがあるのか？（山尾）
 - 蘇遙会として、人数を集めるための呼びかけと運営の協力をした。（七田）
 - 会員バッジは今後必要ないということでカットされているのか？（上月）
 - コロナ禍前は作っていたが、2年前から文化祭でTシャツを作り、欲しい人が自分で買うようにしている。（七田）
 - 紫熊祭の名前があがっていないが、蘇遙会の関りは？（山尾）
 - 売上金で材料や光熱費などの費用を賄っており、こちらの会計とは別なので予算からは除外しているが、蘇遙会として出店している。（七田）
 - 私がやっていた頃は、準備金を蘇遙会会計から借りて収入で同額を戻していたので、そのように書いたほうが良いのではないか。（坂西）
 - そうすると蘇遙会としての活動が見えるので、運動会も同じように書くべき内容があれば書いてほしい。（山尾）
 - 収支報告書の中で活動内容が見えるよう、プラスマイナス0でも書いてほしい。（佐藤）
 - バッジも売れば収入になる。活動費以外にも収入を得るすべがあるのであれば、それも書いておくとよい。（上月）
- ・ 予算案は、承認されたことを確認する。

3 その他

1) 蘇遙会会員名簿原簿利用規定について

- ・ 規定の中に「公開されている情報のみ」を追加することを了承していただきたい。(藤内)
 - 「公開されている」というのは具体的にどういうことなのか？(佐藤)
 - 同窓会システムに登録されている会員の個人情報、項目ごとに「全卒業生に公開」「同期生のみ公開」「公開しない」のどれかに設定できるようになっているので、それによって提供する情報を判断するということ。(藤内)
 - 「公開の許可されている情報」のほうがよい。「社会環境工学科教室」も「土木系教室」に変更するように。(山尾、佐藤)
 - この規定が施行されるのであれば、各支部で代表を登録しなければならないということか？東京支部は、幹事や案内を出す人など違う人が情報を扱うので、複数人登録しておく必要があるのか？同意書などはどのようにしたらよいのか？(坂西)
 - 今までは、代表交代の連絡をもらい確認ができたのち運営委員一覧名簿に載せたことで、登録という形になっていた。(藤内)
 - 意図としては、情報を提供する上で責任者をはっきりさせておかなければならないということだと思うので、責任者を登録する制度を作って文書を作成し今後登録をお願いしたいと思う。(山尾、佐藤)

2) 福井育英奨学金への寄附金について

- ・ 以前は支部総会などの際に募った寄附金を教室で管理していた福井育英奨学金に入れていたが、これが教室管理ではなく工学部の管理になってしまった。今後も各支部総会で寄附金をお願いしたいが窓口がなくなるので、福井育英奨学金ではなく蘇遙会への寄附金としてお願いしたい。(山尾)
 - 福井育英奨学金というのは、工学部の長の決裁を受けて学生に支給されるもの。国家Ⅰ種の試験に合格してその後省庁を訪問するための補助として給付している。それとは切り離して、蘇遙会寄附金としての窓口を立ち上げるということになる。(佐藤)
 - ホームページには、のちに掲載予定。(山尾)

4 各支部より

【東京支部 坂西】

昨年度から対面での同窓会活動を再開しています。日程は未定ですが、今年度も開催予定です。毎年、蘇遙会学生部から来てもらっていたという経緯があるので、今年度もお願いします。今年度の工業会東京支部(山水会)の総会は、今のところ10月19日(土)を予定しています。山尾先生にはまた参加していただきたいので、後日案内します。

【大阪支部 高岡】

昭和52年卒で70歳になるので、今年度で委員を終える予定です。後任が決まり次第連絡します。

昨年度は総会を開催し、山尾先生にも出席いただき通潤橋のお話をしてもらいました。この運営委員会には6年ぶりの出席ですが今回で最後になります。学生の皆さんの色々

な活動を聞いてがんばっておられるなど感心しました。今後も益々がんばってもらいたいと思います。

【福岡支部 大石】

昨年度は 11 月開催の総会に、山尾先生、星野先生、学生部の皆さんに出席いただきありがとうございました。本年度は 11 月 6 日に工業会福岡支部総会を開催する予定ですので、是非参加していただきたいと思っています。

また、福岡の会長より伝言があります。今年総会に来てもらえる学生の皆さんに是非巻頭言を披露していただきたいとのことでした。強い念押しがありましたのでこの場を借りてお伝えします。また詳しいことは後日お知らせします。

【大分支部 安藤】

石和さんが所用で参加できず代わりに参加させていただきました。昨年度はオンラインで参加しました。

昨年度は 1 月に工業会大分支部総会を開催し、山尾先生に出席いただきました。次回は令和 9 年度に開催されることになっています。

大分県土木建築部長は、昨年が三村さん(昭和 61 年卒)で今年度は五ノ谷さん(昭和 62 年卒・平成元年修了)ということで 2 年連続卒業生が就任していることをお伝えしておきます。

【宮崎支部 西野】

初めて参加しました。学生さんの活動などを聞かせていただき、とても活発に活動しているようで感心しました。

宮崎支部は工業会を毎年 10 月に開催しています。今年度も例年通り先生方をお招きして開催予定ですので、後日調整させてください。

宮崎県庁に関しては、令和 5 年卒業生が 1 人入られています。宮崎にも OB・OG の方がたくさんおられますので、今後もこのような活動を通して学生さんとも情報交換させていただきたいと思います。

【熊本支部 上月】

支部の活動としては、昭和 63 年卒の宮島さんが県の土木部長になられたので、平成 11 年卒の愛甲君らが音頭を取って祝賀会を行いました。100 名近く集まり、恩師の崎元先生、山尾先生、北園先生、学内の先生方、蘇遙会の学生の皆さんにも参加していただき、盛大に行われたことを報告します。今後益々勢いづいて活動していけるのではないかと思います。

私も、運営委員を 20 年くらいやっておりましたが、後任が決まりましたので引退したいと思います。工業会の理事とともに引き受けておりましたが、それも終わりますので。後任は、熊本高専八代キャンパスの岩坪先生です。今日は高校総体ため出席できないとのことでしたが、皆様によろしくお伝えくださいとのことでした。お世話になりました。ありがとうございました。

【監事 柿本】 大学全体のことで何かお願いします。(佐藤)

熊本大学では、今、半導体関連のことが大きなトピックになっていて、新しい建物が西側に 2 棟建っています。今年から半導体のコースが始まり、また、文理融合型の学環という学部相当の組織が作られ、新しい教育が始まっています。さらにまた、新しい学環の構

想も動いています。

もう一つ昔とだいぶ変わったところとして、ネーミングライツパートナーの募集もやっています。大学の色々な建物に企業が名前を付けているので、どこかありましたらよろしくをお願いします。図書館には肥後銀行、大江体育館にはボルターズが名前を付けています。

【2年担任 金】今の学生や教室の様子をお話してください。(佐藤)

私の専門は海岸工学で高潮や高波のことをやっています。2023年入学で現在2年生の担任をしています。1年生の時、ガイダンス初日に希望プログラムを聞いたところ、99%が建築でした。この状況を踏まえて学生の指導を行っています。色々なところでお世話になると思いますのでよろしくをお願いします。